

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(1) 食事
小項目	設 問
食堂の雰囲気づくり	<p>食事をおいしく、楽しく食べるための食堂の雰囲気づくりを行っていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、観葉植物を置いたり、音楽を流したり定期的にイベントメニューを設ける等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 食堂の採光、通風、温度に気を配っている。 照明設備に工夫している。 入所者にあった椅子、テーブルの高さや形等を工夫している。 料理に合う食器を使ったり、盛りつけ等の工夫をして見て楽しめるようにしている。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p>
(共通用)	

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(1) 食事
小項目	設 問
食事の選択	<p>食事の選択が可能になっていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、バイキング方式をとったり、常設喫茶等を設け、さらに献立を増やし選択できる等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 1週の内、何度かは複式献立にし選択できるようにしている。</p> <p>C : 1月に1回以上は複式献立にしている。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p>
(共通用)	

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(1) 食事
小項目	設 問
料理の保温 に対する配 慮  (共通用)	<p>温かいものは温かく、冷たいものは冷たい状態で食べられるような配慮がされていますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で、イベントメニューの採用や喫茶コーナーでは、作りながら出せる等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B： 入所者が食事をする場所に、スモールキッチン（流し、冷蔵庫、電子レンジ等）を設ける等により、温めることや冷やすことができる。 食事をする直前に配膳（盛りつけ）をしたり、保温食器を使用している。</p> <p>C： Bのいずれかは実施している。</p> <p>D： 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(1) 食事
小項目	設 問
食事介助の ペース  (共通用)	<p>食事介助は入所者のペースに合わせていますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で、食事介助等にゆとりがもてるようにする等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B： 介助者は、入所者自身で行える範囲を把握しており、必要以上の介助をしていない。 個人の身体状況に合わせて入所者自身が、自分のペースで食べられるように食器や自助具を工夫している。 要介助者には、コミュニケーションを図りながら、あせらずに食べられるようにしている。 1回に口に運ぶ量にも気を配り、飲み込んだのを確認してから次の介助をしている。</p> <p>C： Bのいずれかは実施している。</p> <p>D： 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(1) 食事
小項目	設 問
栄養管理	<p>入所者に対する栄養管理が適切に行われていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、医師、看護・介護職員等と常時入所者別の状況について綿密な連携を行い、入所者の要望等にも十分に配慮する等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 常勤の管理栄養士が配置されている。 入所者個々人の咀嚼力・嚥下力に即した栄養面や形態に配慮した食事となっている。 入所者個々人の病状・健康状態に即した栄養面や形態に配慮した食事となっている。 食事摂取量のチェックができています。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>(共通用) D : 上記の配慮がみられない。</p>



分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(2) 入浴
小項目	設 問
羞恥心への配慮  (共通用)	<p>入浴時、裸体を他人（介助者は除く）に見せない工夫がとられていますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で、プライバシーが守られていたり、個別入浴を実施する等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B： 着脱は浴室内の脱衣所において行われている。 脱衣は入浴の直前に行われ、何らかの理由で早く脱衣を済ませた入所者には、バスタオルで身体をおおう等の配慮をしている。 浴室はドアやカーテンで仕切り、性別に配慮し、プライバシーが守られている。</p> <p>C： Bのいずれかは実施している。</p> <p>D： 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(2) 入浴
小項目	設 問
タオルの準備  (共通用)	<p>入浴の際のタオルは1人1枚以上用意されていますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で、必要があれば1人何枚でも使用できる状態にあり、使用部位別にタオルの種類を揃えている等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B： タオルは少なくともプライバシー保護用と、洗顔用の2枚は用意されている。 洗髪後には、新たなタオルで十分に拭き取り、身体を拭き取るためのタオル（バスタオル）も用意されている。</p> <p>C： タオルは1人1枚用意されている。</p> <p>D： タオルは個別には用意されていない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(3) 排泄
小項目	設 問
排泄自立	<p>利用者に対して排泄自立のための働きかけをしていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、ケア会議等において個別の排泄自立支援への対応策が職員間で検討される体制にあり、センサー等の活用を試みる等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 入所者に対して、どの部分に介助が必要であるのか把握ができています。尿意や便意のあった時には、自分で行けるよう、介助バー、ポータブルトイレ等を設置するなど、環境整備に努めている。尿意や便意のある入所者には、おむつをあてていても、ポータブルやトイレで介助している。精神機能の低下している入所者には、声をかけて誘導し、トイレでの排泄を促している。衣類操作には、着脱しやすいものを考え、パンツやパットの工夫をしている。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>( 共通用 ) D : 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(3) 排泄
小項目	設 問
深夜・早朝のおむつ交換 (布おむつの場合)  (共通用)	深夜・早朝のおむつ交換を実施していますか。 A : Bを満たしている上で、訴えられない入所者には、いつでも必要があれば交換する等、優れた取り組みをしている。 B : 深夜・早朝にも定時の交換が実施されている。 尿量の多い入所者や、訴えのある入所者には、時間に関係なく必要時実施している。 交換の都度、清拭等で清潔の保持に努めている。 交換時、皮膚の観察とともにマッサージ等褥瘡予防にも努力している。 C : Bのいずれかは実施している。 D : 深夜・早朝のおむつ交換は実施していない。
(紙おむつの場合)  (共通用)	深夜・早朝のおむつ交換を実施していますか。 A : Bを満たしている上で、必要に応じて職員間で紙おむつの検討を行い、安眠のために何種類かのおむつを組み合わせる等、優れた取り組みをしている。 B : 紙おむつの吸収量により、深夜・早朝の時間を設定し実施している。 夜間おむつ交換が必要な入所者には、安眠の妨げにならない範囲で必要時に実施している。 交換の都度、清拭等で清潔の保持に努めている。 交換時、皮膚の観察とともにマッサージ等褥瘡予防にも努力している。 C : Bのいずれかは実施している。 D : 深夜・早朝のおむつ交換は実施していない。

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(3) 排泄
小項目	設 問
羞恥心への配慮	<p>排泄介助時にカーテンを引く等プライバシーが守られていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、さらに優れた取り組みをしている。</p> <p>B : おむつ使用者には、ベッド周りにカーテン等を使用している。 ポータブル使用者の居室のベッドの位置を配慮し、スクリーン等の利用によりプライバシーを守るようにしている。 トイレ介助にも、カーテン等は必ず閉めてから介助する等、プライバシーを守っている。 臭気を取り除くための配慮をしている。 居室でのポータブル使用の際、支障の生じないスペースがある。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>(共通用) D : 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(3) 排泄
小項目	設 問
排泄記録表の作成	<p>排泄記録表が作成され、健康管理その他の面で活用されていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、ケア会議等において、排泄関連問題の対応策が職員間で話し合われる体制にあり、さらに優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 個別の排泄記録表が作成され、排尿・排便の状況が把握できている。 個別の排泄記録表から、排泄自立への働きかけをしている。 排尿・排便が困難な入所者に対しては、必要に応じて関係者と連携の上、対応している。 水分の摂取量とともに補給する内容の検討、また、食事面への配慮にも努めている。 気にかかる入所者については、観察したことも含めて記録の上、申し送りをしている。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>(共通用) D : 上記の配慮がみられない。</p>



分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(4) 寝たきり防止
小項目	設 問
寝・食分離	寝たきり防止が徹底され、少なくとも寝・食分離が行われていますか。
	<p>A : Bを満たしている上で、日中グループ活動や行事等を設定し、離床する機会・時間が増えるようにしたり、食堂や食堂のない所でも談話室等の共有スペースを食事の場所として使用することで居室以外の場所で食事をとることができる等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 長時間の離床が困難な入所者でも、食事以外の時でもベッドと車椅子の移乗介助を行い、寝たきりにならないようにしている。 食事は医師等の指示により安静が必要な人を除いて必ずベッド以外の場所でとれるようにしている。 車椅子へ移乗できない入所者は、ギャッチベッド等を利用し、少しでも座位を保つよう努力している。 入所者個々の状態に応じた補助具等を使用し、少しでもベッドから離れることができるよう配慮している。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 寝・食分離の徹底もされていない。</p>
(共通用)	

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(4) 寝たきり防止
小項目	設 問
総臥床時間減少の努力	1日の総臥床時間を減少する努力が行われていますか。
	<p>A : Bを満たしている上で、訓練を日常の中に取り入れ、少しでも起座時間を延ばすことができるようにし、どうしても車椅子へ移乗できない入所者は、ギャッチベッドを利用し、少しでも起座できるようにする等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 休養以外でベッド上に常時寝ていないようにしている。 拘縮のひどい入所者や全面介助の入所者でも個々の病態にあった車椅子を利用し、少しでも起きていることができるようにしている。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p>
(共通用)	

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(4) 寝たきり防止
小項目	設 問
寝間着・日常着の区別          (共通用)	<p>日中は、寝間着から日常着に着替えるようにしていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、全面介助者でも起床時に着替えるようにしたり、日常着も個別の障害に合わせてリフォームする等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 全面介助者を除いては、起床時の介助として日常着への着替えを行っている。 全面介助者でも、日中職員が増えた時点で着替えをしている。 着脱が自立している入所者には、取り出し易い場所に衣類を収納する等の働きかけをし、日常着に着替え易いような配慮をしている。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(5) 自立支援
小項目	設 問
自立を促す適切な介助	<p>日常生活動作にすべて手を貸すのではなく、入所者ができるだけ自分で取り組むように配慮していますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で、ADL調査表の見直しや、他職種との連携等により、より正確な評価ができるようにしたり、調査を行い、データを分析するなどして入所者自らの取り組みへの働きかけをする等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B： 残存機能と、現在の機能をきちんと評価し、できる所は手を貸さずに見守るようにしている。 設備や環境を整える等により、入所者が自分で取り組めるようにしている。 入所者の動機づけに配慮している。 入浴・食事等の場面でもその原則が守られている。</p> <p>C： Bのいずれかは実施している。</p> <p>(共通用) D： 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(5) 自立支援
小項目	設 問
自助具・補装具の設置	<p>利用者の障害の形態により、自立生活のための自助具や補装具などが、準備されていますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で、定期的に個々の障害のレベルについて検討され、自助具や補装具の見直しもされたり、既存の物だけでなく、入所者を観察したり、話し合いをする中で自助具を考案する等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B： 入所者の障害を正確に把握し、個々のレベルに応じた自助具や補装具を用意し、それぞれのレベルでの自立生活ができるように配慮している。 必要に応じて、理学療法士や作業療法士等、他職種との連携を図り、個別の対応、適した自助具・補装具の選択に務めている。 心身機能が低下した入所者にも使いこなすことができる自助具であるよう配慮している。</p> <p>C： Bのいずれかは実施している。</p> <p>(共通用) D： 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(6) 外出や外泊への援助
小項目	設 問
外出の機会の確保	<p>1人で外出することが困難な入所者に対して、希望を聞き計画的に外出の機会を確保していますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で、入所者が自由に希望が述べられる機会づくりに配慮したり、社会資源等も活用し、必要に応じて1対1での外出もできる等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B： 生活場面、面接等を通し、入所者の希望を把握し、年間の行事計画で外出の機会を多く設定している。 季節ごとに外出の機会を設け、計画的に実施している。 日常の中で、居室担当が個別に散歩の機会を設ける等の配慮をしている。 外出や外泊をしたがらない要介助の入所者にも、個別に働きかけている。</p> <p>C： Bのいずれかは実施している。</p> <p>D： 上記の配慮がみられない。</p>
(共通)	

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(6) 外出や外泊への援助
小項目	設 問
家族への働きかけ	<p>外出・外泊の機会を多く持ってもらおうよう家族等に積極的に働きかけていますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で、入所者の希望を聞き、年末・年始以外でも、外出・外泊の機会を持つよう家族への働きかけや、家族会の組織化等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B： 入所面接の段階で、家族に外出・外泊について説明し、協力を依頼している。 行事等は家族も一緒に参加できるようなものを計画し、外出の機会としている。 年末・年始には外出・外泊の機会が持てるように働きかけている。</p> <p>C： Bのいずれかは実施している。</p> <p>D： 上記の配慮がみられない。</p>
(共通)	

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(7) 会話
小項目	設 問
利用者への言葉づかい	<p>入所者への言葉づかに特に注意し、そのための検討が行われていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、マニュアル等を利用し、個人の意識の高揚に務めたり、日常的にその検討ができる立場の職員配置や検討委員会を設ける等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 入所者の心身の機能レベルにかかわらず、自尊心を傷つける言葉づかいをしない。 機能の低下した入所者にも、幼児語を用いたりしないよう、注意している。 入浴等の場面でも、決して指示的な言葉にならないように注意している。 接遇教育プログラムが確立されている。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p>
(共通)	

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(7) 会話
小項目	設 問
適切なコミュニケーション方法の実行	<p>日常会話が不足している入所者に対して、言葉かけと相手の話に耳を傾けるように配慮していますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、失語症等により、会話が不可能な入所者には、個別にコミュニケーションの方法を考え、本人との話し合いでサイン等を活用したり、入所者全員の意見が出せる場を設定する等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 会話の不足している入所者には、特に気を配っている。 日常生活の各場面でボディケアのみにとらわれず、トーキングサービスの重要性を認識し、言葉かけを行っている。 入所者からの話を引き出す努力をすると共に、入所者から話しかけがあった時は、他の業務よりも優先し、ゆっくりと話が聴けるように配慮している。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p>
(共通)	

分 野	1 日常生活援助サービス
中項目	( 8 ) レクリエーション等
小項目	設 問
主体的な参加・活動	レクリエーション等のプログラムは、入所者が積極的に参加しやすいように計画され、実施されていますか。
	A : Bを満たしている上で、参加者間の主体的な参加・活動を促したり、参加者が企画・運営できる等、優れた取り組みをしている。
	B : 参加者の特性を十分に把握し、趣味や興味を重視した計画がされている。 個々の身体状況や日課等を考慮し、活動し易い時間を設定し、実施している。 日常生活援助の中でも、活動に対する動機づけが充分配慮されている。
	C : Bのいずれかは実施している。
( 共通用 )	D : 上記の配慮がみられない。

分 野	1 日常生活援助サービス
中項目	( 8 ) レクリエーション等
小項目	設 問
多彩なメニューの工夫	レクリエーション活動(クラブ活動等)は、趣味・娯楽などを活かした小グループで行われ、自由に選択できる多彩なメニューをそろえていますか。
	A : Bを満たしている上で、常に入所者の趣味・興味、そして希望を把握することに努め、必要があれば、新たな活動を設定したり社会資源を活用する等、優れた取り組みをしている。
	B : 継続性のあるクラブ活動から、単発的なレクリエーションまで入所者の特性を配慮した小グループの活動が設けられている。 入所者個々の趣味や興味等に応じ、それぞれが選択できるように配慮されている。 それぞれの活動が入所者個々に明らかにされ、選択するための個別の働きかけに配慮している。
	C : Bのいずれかは実施している。
( 共通用 )	D : 上記の配慮がみられない。

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(8) レクリエーション等
小項目	設 問
家族・ボランティア等の参加	<p>各種行事に、家族やボランティア、地域住民も参加できるように配慮していますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で、定期的に参加できる行事を設定する等の継続性が見られ、家族やボランティア、地域住民も、企画から参加し、一緒に楽しめるようにしている等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B： 年間の行事計画の中に、家族やボランティア、地域住民が参加できるものを設定し、その計画を明らかにしている。 月単位程度の諸活動でも、常に家族やボランティア、地域住民の存在を意識化し、いろいろな通信手段を利用して参加を呼びかけている。</p> <p>C： Bのいずれかは実施している。</p> <p>D： 上記の配慮がみられない。</p>
(共通)	

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(9) 認知症高齢者
小項目	設 問
① 適切な対応  ★  (共通用)	<p>問題行動等の観察と分析を行い、その行動への適切な対応を行っていますか。</p> <p>A : <input type="checkbox"/> Bを満たしている上で、医療スタッフ等、他職種との連携のもと、より細かな分析を行ったり、ボランティア等を活用し、個別の対応がより深められるようにする等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : <input type="checkbox"/> 問題行動を呈する入所者には、一定期間の観察と記録を行い、その分析を行っている。  <input type="checkbox"/> その問題行動の原因や行動パターン、危険性等を職員が認識している。  <input type="checkbox"/> 問題行動を早急に抑制しようとするのではなく、環境を整備したり、受容的な態度で行動を受け止めている。</p> <p>C : <input type="checkbox"/> Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : <input type="checkbox"/> 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(9) 認知症高齢者
小項目	設 問
② プログラム 等への配慮  ★  (共通用)	<p>認知症高齢者に対しての生活上の配慮・プログラムが計画されていますか。</p> <p>A : <input type="checkbox"/> Bを満たしている上で、他職種との連携のもとに、定期的な援助の見直しが検討され、余暇活動においても、知的機能を活発化し、情緒的に訴えるプログラムを用意する等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : <input type="checkbox"/> 認知症高齢者に対しては、日常生活能力を評価し、その機能の維持、及び残存機能を発見する配慮をしている。  <input type="checkbox"/> あらゆる場面で支持的援助を重視し、生活への配慮をしている。  <input type="checkbox"/> 介助においても、排泄の状況や水分摂取等、特に気を配るとともに、保清に関する気配りもされている。  <input type="checkbox"/> 認知症高齢者への援助指針と個別的援助プランが確立されている。</p> <p>C : <input type="checkbox"/> Bの中でいずれかは実施している。</p> <p>D : <input type="checkbox"/> 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(9) 認知症高齢者
小項目	設 問
③ 抑制・拘束の有無  ★  (共通用)	<p>抑制・拘束は行わないようにしていますか。</p> <p>A : <input type="checkbox"/> Bを満たしている上で、専門他職種との連携を通して、個別の対応を行う等、事故防止対策を十分に講じて優れた取り組みをしている。</p> <p>B : <input type="checkbox"/> 骨折後の体重負荷が禁止されているにもかかわらず、その指示が守れず、再骨折の可能性が高いなど、止むを得ない場合に限り、家族への説明と同意により車椅子の安全ベルトを活用するなどしているが、そのような場合でも、できる限り見守るなどして拘束時間を限定している。            また、そのような対象には、個別に機能訓練を行うとともに職員の接触時間を長くとり、情緒的な安定が得られるよう努力している。  <input type="checkbox"/> 抑制や拘束のみを目的にした大量の向精神薬投与は行わないようにしている。  <input type="checkbox"/> 環境面に十分な工夫をし、入所者の行動が抑制されたり拘束されたりすることのないようにしている。</p> <p>C : <input type="checkbox"/> Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : <input type="checkbox"/> 十分な検討なしに抑制や拘束が行われている。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(9) 認知症高齢者
小項目	設 問
④ 活動的な生活の援助  (共通用)	<p>認知症高齢者に対しては、夜間安眠できるように、日中できるだけ活動的な生活を援助していますか。</p> <p>A : <input type="checkbox"/> Bを満たしている上で、グループ活動の困難な入所者に対しても、個別の活動を行い、その活動メニューは、知的機能を活発化するとともに、情緒に訴えるようなものを用意し、入所者が楽しく活動できるようにする等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : <input type="checkbox"/> 認知症高齢者の特性に応じたりハビリ、クラブ活動を行っている。  <input type="checkbox"/> 入所者個々の特性に合わせ、個人あるいはグループで継続的に行えるような活動を設けている。  <input type="checkbox"/> 四季折々の活動を用意し、日中の活動的な生活に工夫をしている。</p> <p>Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : <input type="checkbox"/> 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(9) 認知症高齢者
小項目	設 問
⑤ 環境の整備   (共通用)	<p>認知症高齢者が安心して生活できるよう、環境が整備されていますか。</p> <p>A : <input type="checkbox"/> Bを満たしている上で、共有スペースには、くつろげる家具等を置き、より認知症高齢者のための環境整備を進める等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : <input type="checkbox"/> 認知症高齢者の居室については、慎重に検討し、特に配慮している。  <input type="checkbox"/> ハード面では安全性を重視した上で、観葉植物や生き物を飼う等の、心の潤いに通じるような環境整備の工夫をしている。  <input type="checkbox"/> 居室・トイレ等、一目でわかるような表示をする等の工夫の他、ベッドの周囲には写真や個々の好みの物を飾る等配慮している。</p> <p>C : <input type="checkbox"/> Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : <input type="checkbox"/> 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(9) 認知症高齢者
小項目	設 問
⑥ 医学的配慮  ★  (共通用)	<p>認知症高齢者に対する医学的配慮が適切に行われていますか。</p> <p>A : <input type="checkbox"/> Bを満たしている上で、入所者ごとの詳細な行動分析・評価を行うとともに、特に問題行動の著しい入所者については、専門医等の指導を受ける等の対応を行い、マニュアルなどが設けられている等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : <input type="checkbox"/> 施設の入所が妥当な対象者を適切に入所させている。  <input type="checkbox"/> 認知症の病態等の把握、各入所者ごとに看護・介護サービスを計画的に実施するため、定期的に医師、看護・介護職員等によるケースカンファレンスを行っている。  <input type="checkbox"/> 併存する可能性のある医学的問題の検討を行っている。</p> <p>C : <input type="checkbox"/> 入所者の状態について一応の把握はしている。</p> <p>D : <input type="checkbox"/> 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(9) 認知症高齢者
小項目	設 問
⑦ 認知症疾患 の専門的診 断・評価          (老健用)	<p>認知症疾患の専門的診断・評価がなされていますか。</p> <p>A : <input type="checkbox"/> Bを満たしている上で、認知症の専門医の定期的な診察を受けており、一定の認知症評価基準によって定期的に評価を行う等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : <input type="checkbox"/> 認知症の疑いのある入所者に対しては、専門医に診断を依頼している。  <input type="checkbox"/> 必要に応じて、CTなどの検査を受け、認知症の疾病診断が行われている。  <input type="checkbox"/> 認知症診断基準による評価が行われている。</p> <p>C : <input type="checkbox"/> Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : <input type="checkbox"/> 認知症疾患の専門的診断、評価は行われていない。</p>

分 野	1 日常生活援助サービス
中項目	( 1 0 ) 入所者の自由選択
小項目	設 問
嗜好品の自由  ( 共通用 )	<p>嗜好品について適切な対応がなされていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、嗜好品が自由に購入できるような売店等が、施設内にあって利用できたり、付き添いの必要な施設外での飲食、喫茶等の希望にも応じる等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 心身状況等に問題のある人でも、個別的な対応をしている。 その他の入所者には、個々の嗜好を考慮し、集団生活を営んでいることを配慮の上、喫煙場所や飲酒時間の設定等で対応している。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p>

分 野	1 日常生活援助サービス
中項目	( 1 0 ) 入所者の自由選択
小項目	設 問
テレビ・新聞・雑誌等の自由な利用  ( 共通用 )	<p>テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・図書・ビデオが自由に利用できますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、希望があれば個人で購入できたり、心身機能の状況により自分で読む事が困難な入所者には、ボランティアの導入等により、朗読のサービスが提供できるようにする等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 新聞・雑誌・図書等が、皆で自由に利用できるような閲覧コーナーが、必ず設けてある。 種類も数多く準備し、いろいろな状態の入所者が利用できるように配慮している。 テレビを設置して入所者が自由に見られるようにしている。 ビデオの機材があり、希望があった時には、自由に視聴できるよう用意している。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(10) 入所者の自由選択
小項目	設 問
髪形・服装の自由  (共通用)	<p>髪形や服装・化粧は、入所者の好みで自由に選ぶことができますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、理美容室への外出の機会や、理美容師の施設内への導入等に配慮したり、日常的に買物の機会を設けたり、年間計画の中で、施設内でも衣料品販売を実施し、入所者が自分で選べるようにする、お化粧のボランティアを導入する等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 身だしなみの介助が必要な入所者でも、常に入所者の好み、希望通りにしている。 服装についても、着脱し易い型・素材にのみとられるのではなく、入所者の好みの柄・色等を重視している。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(10) 入所者の自由選択
小項目	設 問
外部との自由な連絡  (共通用)	<p>外部と自由に通信（電話・ファクシミリ・手紙）することができますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、個人の電話・ファクシミリの設置が可能であり、入所者のプライバシーを守るために、通信内容が他人に聞こえないようにする等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 公衆電話等を設置し自由に電話できるよう配慮している。 便箋・封筒・切手類が自由に購入でき、また自由に投函できる設備等を工夫している。 電話・手紙が自分でできない入所者には、信頼関係にある職員が、極力プライバシーを守る配慮をしながら代行し、外部と通信できるようにしている。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(10) 入所者の自由選択
小項目	設 問
金銭等の自己管理           (共通用)	<p>金銭等を自己管理できる人は、自己管理できるように配慮していますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、日常の経済活動が支障なくできるような工夫や、その場面設定をするなど、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 多額の現金は所持せず、個人財産として管理を希望する場合は、適当な金融機関を紹介するなどして、自己管理し易くなるよう配慮している。 個々のベッド周囲に、個人で財産等の管理ができるための環境整備をしている。 全面的に職員が管理してしまうのではなく、一部を職員が預かり、小銭等日常の小遣い程度は入所者が自己管理できるよう配慮している。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p>

分野	1 日常生活援助サービス
中項目	(10) 入所者の自由選択
小項目	設 問
施設外部との交流           (共通用)	<p>施設外部との交流が自由ですか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、入所後もなかなか適したグループ活動の見つからない入所者には、積極的に外部の団体も活用する等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 入所前より所属していた団体(趣味・老人クラブ等)とは、つながりを大切にし、自由に参加できるようにしている。 自分で外出できない入所者には、職員やボランティアが付き添って行ったり、団体の人に訪問してもらう等の配慮をしている。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p>